



たかさきせいねんかいぎしょ いんすたぐらむ
高崎青年会議所の Instagram で

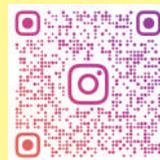
そだ ようす とうこう
サケを育てる様子を投稿しているよ。

そだ ようす くら さんこう
みんなが育てているサケの様子と比べて、参考にしてね。

かぞく かた きょうりょく
ご家族の方と協力して、

せいちょうにつき づ
「#サケの成長日記」でタグ付けて、

とうこう
みんなも投稿してみようね！



JCI_TAKASAKI

サケの卵保存&育成マニュアル

1 サケを育てる準備をしよう！

サケを飼育するための水槽

- ・サケの卵や、稚魚を育てる水槽を用意します。ペットショップで市販されている60cm水槽（W60cm×D30cm×H36cm）が使いやすいでしょう。
- ・水槽に合う循環濾過装置をセットし、エアポンプでエアレーションをすれば酸素供給も十分です。

水槽に入れる水

- ・水道水の中には、サケや他の生き物が嫌いな塩素が含まれています。水道水に含まれる塩素は、1日置いておくとなくなります。水槽に入れる水は、1日汲み置きしたものを使うようにしましょう。ペットショップで販売しているハイポ（チオ硫酸ナトリウム）で中和しても良いでしょう。

水換えのタイミング

- ・サケの卵や稚魚を育てている時に、水が白く濁ったら水槽の水が汚れたサインです。全体の3分の1ほどの水を新しい水と取り換えましょう。
- ・いつでも水が取り換えられる様にバケツなどに汲み置きした水を用意しておくとも良いでしょう。

水槽を置く場所として適してるのは？

- ・日の光が直接当たらない、振動の少ない場所に置きましょう。卵が孵化してすぐの稚魚は、日の光や振動に弱いです。
- ・泳ぎ出すまで「覆い」をし、水槽内を暗く保ちましょう。また、水槽の近くでは静かに行動し、水槽に振動を与えないようにしましょう。
- ・1日の温度変化が小さい場所に置くようにしましょう。直接、日の光が当たると、水温が上がってしまいます。
- ・暖房器具の当たらない所に水槽を置くようにしましょう。サケは冷たい水に住む魚です。ストーブやエアコンで暖められた部屋で飼育することはできません。
- ・水温は15℃以下がよく（10℃前後がおすすめです）、水温計などを設置して注意しましょう。

2 卵を育てよう！

卵の育て方

- ・水槽の中で卵が重ならないようにしましょう。
- ・水温が15℃以上になっていたら、今置いてある所より涼しい所を探しましょう。
- ・水槽周りをダンボール等で囲み、水槽を暗くしましょう。

白くなった卵を見つけたら

- ・死んだ卵はすぐに取り出してください。卵が死ぬと白く濁りますので、すぐに取り出してください。そのままにしておくと、卵のまわりに綿のようなカビが付き、水槽全体の卵が死んでしまいます。

孵化するのはいつ？

- ・水槽へ卵を入れてから、大体1～2週間くらいで卵が孵化するでしょう。孵化までにかかる日には水温や卵の状態によって違いがあります。
- ・毎日決まった時間に水温を計りながら卵を観察してみましょう。

卵を育てるためにチェックをしよう！

- 水槽の中で卵が重なっていませんか？
- 水温は15℃以下になっていますか？
- 水が濁った時に、水の交換はできていますか？
- 死んだ卵を取り出しましたか？

チェックができたらOKです。
卵が孵化するのを待ちましょう！

サケをどのように育てていきたいか、

ご家族の方と書いてみよう！

3 孵化した稚魚を育てよう！

最初はエサをあげない

- ・孵化したばかりの稚魚は透き通っていて、お腹に大きなオレンジ色の「さいのう」を付け水槽の底にじっとしています。
- ・お腹に「さいのう」を付けているときはエサを食べません。
- ・「さいのう」がほぼ吸収され、泳ぎ出す孵化後18～25日までは、エサをあげず暗くしておきましょう。



孵化した稚魚の育て方をチェックしよう！

- 水温は15℃以下になっていますか？
- 稚魚のお腹に「さいのう」があるときにエサを与えていませんか？
- 観察の時以外は、水槽に「覆い」をしていますか？

チェックができたならOKです。
泳ぎだすのを待ちましょう！

サケの卵が孵化した時に思ったことを書いて、ご家族の方に伝えてみよう！

4 泳ぎ出した稚魚を育てよう！

泳ぎ出したらエサをあげましょう

- ・お腹の「さいのう」がほぼ吸収されて小さくなり、水槽の底から浮かび上がって泳ぎ出したら、いよいよエサをあげましょう。
- ・稚魚用のエサを、少しずつ何回かに分けてあげましょう。
- ・エサをあげるようになったら、いままで暗くしていた水槽の段ボールなどを外しましょう。

エサの上手なあげ方

- ・始めの1週間くらいは、1日に5～6回くらいエサを与えます。エサを与えても最初はエサだとわからず、すぐには食べません。
- ・そのため、サケの稚魚がこれをエサだとわかるまでは、少しずつエサを与え、餌付けすることが必要です。
- ・始めのうちは、口の大きさに合わせて、小さくすり合わせて漬けて与えます。
- ・エサをあげる回数を徐々に減らしていき、あげ始めてから40日くらいしたら1日に2回程度で良いでしょう。
- ・稚魚が食べずに余ったエサは、網などですくい水をキレイに保ちましょう。

泳ぎ出した稚魚の育て方をチェックしよう！

- 水温は15℃以下になっていますか？
- エサの食べ残しはしっかりと網などですくっていますか？
- 死んでしまった稚魚を取り除いてあげていますか？
- 水槽の水が汚れたら換えていますか？

チェックができたならOKです。
しっかりと育てましょう！

お腹の「さいのう」が小さくなり、稚魚の体に色がついてきたらいよいよエサをあげてみましょう！

サケを放流する前の日に書いてね！

今日まで学んだことを振り返って書いて、ご家族の方に伝えてみよう！

5 育てたサケを放流しよう！

育てたサケは川に返します

- ・残念ながら、みなさんに育ててもらったサケは、3月上旬には川に返してあげなければいけません。
- ・サケには、川を渡り、海を渡らなければいけない使命があるからです。
- ・ですので、3か月という短い間ですが、みなさんの家族のように大切に育てて欲しいと思っています。
- ・別れが来る事は寂しい事ですが、サケがみなさんの元で育ててもらえてよかったと思えるように、約3か月の育成期間を大切に過ごしてください！



サケについてもっと学ぼう！

サケの卵をもらって、みんなはサケのお父さん、お母さんになったね！
みんなにはもっとサケのことを知ってほしいから動画も見てみてね！

サケが生まれてから大きく成長する様子や、サケに関するクイズもあるからみんなのご家族の方と一緒に見てね！

前半・後半で分かれているから、必ず前半から見てね！



参考：第33回サケの稚魚放流事業